

## 令和4年度日臨技中部圏支部医学検査学会（第60回）の開催にあたって



一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会  
会長 高林 保行

令和4年度日本臨床衛生検査技師会中部圏支部医学検査学会（第60回）を開催するにあたり静岡県臨床衛生検査技師会を代表して一言ご挨拶申し上げます。

本学会は、令和4年10月8日（土）、9日（日）の2日間にわたり静岡県沼津市のプラサヴェルデを会場としての開催と後日オンデマンド配信を組み合わせる静岡県臨床衛生検査技師会が担当して開催いたします。新型コロナウイルス感染症については状況を鑑み新しい社会に基づいて工夫しながらウイズ・アフターコロナ時代に相応しい対応で取り組んでまいります。

さて、今回のテーマは「Go to the NEXT ONE! ～ふじのくにに集い 今と未来を考える～」であります。新型コロナウイルス感染症の対応に追われて皆様もご苦労されたと思いますが、次の段階に進み変化する環境の中で検査技師が幅広く活躍する未来を描いていく必要があります。先輩方が培ってきた数多くの知識や技術を更に発展して未来の臨床検査を支える次世代へ向けて情報発信の場となるように考えております。現在、医師の働き方改革を推進するためのタスク・シフト／シェアへの取り組みによる職域の拡大が進んでおります。臨床検査の現場では、検査装置のロボット化や人工知能（AI）を搭載して業務の効率化や品質保証への取り組みが進んでおります。更に臨床検査技師の養成カリキュラムも法律が改正されて新しい局面を迎えています。支部シンポジウムでは新たな環境の変化に直面していかに順応していくのか将来に向けて夢を語ってまいります。一般演題123演題に、9つの部門企画、これからの検査室への期待をこめた特別講演などふじのくにでの有意義な学会となることを期待しております。

ふじのくに静岡県は東西に広く、今回の会場の沼津市は静岡県の中でも東部となり首都圏支部に近く、中部圏支部の皆様には遠路となりご足労をおかけすることになりますが、世界文化遺産の富士山がそびえ立つ景観と駿河湾の海の幸を是非ともご堪能していただければ幸いです。多数の日臨技中部圏支部の会員の皆様にご参加いただけることを心よりお待ちしております。

最後に、学会開催に際し、多くの皆様方にご支援ご協力を賜りましたことに心から感謝申し上げます。